

|            |   |
|------------|---|
| 会議の名称      | 第1回知名町振興計画審議会   |
| 開催日時       | 令和元年5月13日(月) 午後3時から4時30分まで  |
| 開催場所       | 知名町商工会2階会議室   |
| 出席者        | 委員：東委員、今榮委員、大藏委員、大山委員、神崎委員、先間委員、宗村委員、園田委員、平委員、高野委員、外山委員、名間委員、原田委員(商工会紙谷指導員代理出席)、福委員、古村委員、前田委員<br>事務局：町長、【企画振興課】高風課長、池沢課長補佐、原田係長、渡辺係長  |
| 欠席者        | 委員：朝戸委員、大藏委員、木脇委員、淵邊委員  |
| 議題<br>(次第) | 1. 開会<br>2. 町長あいさつ<br>3. 委嘱状交付<br>4. 会長・副会長選出<br>5. 諮問<br>6. 議題<br>(協議事項)<br>第1号 知名町振興計画審議会の運営について<br>(報告事項)<br>第1号 第6次知名町総合計画策定方針について<br>第2号 第6次知名町総合計画構成について<br>7. その他<br>8. 閉会 |
| 配布資料       | ①会次第/席次表・会場レイアウト<br>②知名町振興計画審議会の運営について<br>③第6次知名町総合計画策定方針<br>④第6次知名町総合計画構成<br>⑤第6次知名町総合計画策定について(諮問)<br>⑥知名町の住民基本台帳の推移(H25～H31)<br>⑦第5次知名町総合振興計画 施策体系図                             |
| その他事項      | 審議会の協議により、発言者氏名は記載しないこととする。   |
| 主管課        | 企画振興課   |

会議録

| 会議の経過    |   |
|----------|---|
| 発言者      | 発言内容・決定事項等  |
| 事務局      | 開会挨拶  |
| 町長       | 第5次知名町総合振興計画が本年度に終了する。総合計画は将来の町をこれからどう作るかを方向付ける大切な計画。町民の声をどれだけ行政に反映させるかが重要。そういった意味では皆様が各団体の代表者なので、皆さんが日頃お聞きになっている点について忌憚のないご意見を出し合いながら総合計画策定を進めていきたい。時代の変化が激しいので計画期間途中で見直しも必要になってくるかもしれない。皆様の意見を出し合っていただきながら計画策定を進めたいと思っている。よろしくお願ひいたします。 |
| 委嘱状交付    | 町長から委員へ委嘱状交付。   |
| 会長・副会長選出 | 立候補者なし。事務局案として会長に平委員、副会長に前田委員を提案。互選により決定。   |
| 諮問       | 町長から会長へ諮問提出。  |
| 事務局      | (協議事項) 第1号 知名町振興計画審議会の運営について説明。   |
| 委員       | 会議録はどのように公表する予定か。   |
| 事務局      | 町ホームページ、広報紙での広報を予定している。   |
| 事務局      | (報告事項) 第1号 第6次知名町総合計画策定方針について説明   |
| 委員       | 中期・短期はどのくらいの期間を考えているのか。令和2年度からの事業については既に計画があるのか。  |
| 事務局      | 今回の総合計画は、町づくりの大きな方向性を示すものになる。また、その中に含まれるものについては既存事業が主になるかと考えられる。新しい事業については、各課から事業が上がって、財政と調整して実施することになるかと考える。   |
| 委員       | 奄振計画や、過疎計画についても、総合計画と連携を取るようになるか。   |
| 事務局      | 第5次計画では基本構想、基本計画、10ヵ年の実施計画があった。第6次計画では大元の基本構想のみをまとめる予定。   |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | 実施計画ができ個別事業の事業内容や金額等についてまとめることになるのか。   |
| 事務局 | 冊子にするのは基本構想のみ。実施計画については各課で作成していただき企画で取りまとめる予定。   |
| 委員  | 個別計画の見直しはするのか。基本構想となると文言だけで具体的なものが上がってこないのかどうか。  |
| 事務局 | 今回は基本構想のみで実施計画は冊子として作成しない。手持ち資料として整理する。振興審議会では個別の計画、事業についてではなく大きな考え方について議論をしていただきたいと考えている。   |
| 委員  | 第5次計画でできたこととできてなかったことの検証が必要。それがないと、できなかった課題がそのまま何年も引き継がれることになって、いい効果が生まれないのではないかと。   |
| 事務局 | 第5次計画については計画を立てた後のPDCAサイクルをいつ、どのようにするかという仕組みづくりができていなかった。そのため成果指標を立てた後その数値について定期的にチェックができていない。現在、第5次計画については作業部会において成果を確認しているところ。第6次計画ではPDCAサイクルを回す仕組みを作り計画に対して実行状況はどうなっているかを定期的に確認したい。 |
| 委員  | 何年度にどういう事業をいくらの事業費ですといった実施計画をもとに基本構想を考えるのであれば方向性が決めやすいのかと思った。実施計画の資料提供は可能か。基本構想は文章だけになるので何をするか分からない。具体性が見える計画が必要なのかなと考えた。  |
| 事務局 | 各年度のスケジュールについては作成する。議案として出すのは基本構想のみ。審議会で協議するのは基本構想の部分についてとなる。  |
| 委員  | アンケートの目標回収率は。  |
| 事務局 | アンケート発送者数1,800名の2割、360名を目標としている。まち・ひと・しごと創生総合戦略アンケートの回収率が2割だっ  |

|     |   |
|-----|---|
|     | た。統計手法により町内 18 歳以上の対象者約 5,000 名に対し約 360 名の回答があれば、ほぼ意見を集約できるとの考えによるもの。360 名÷2 割でアンケート送付者数を 1,800 名とした。 |
| 事務局 | (報告事項) 第 2 号 第 6 次知名町総合計画構成について説明   |
| その他 | 次回は、第 5 次計画の進捗状況についての報告、町民アンケート結果報告等の資料提供ができるので、今回より具体的な議論がすることができると思う。次回も皆様のご協力をいただきたい。よろしくお願ひします。   |

審 議 会 長

平 秀 徳 ㊟